

# In brief

## The latest news in financial reporting

**pwc**

No. US2015-35  
November 18, 2015

### FASBが金融商品の分類および測定に関する基準の発効日を決定

#### 最新の動向

米国財務会計基準審議会(FASB)は、2015年11月11日、提案されている金融商品の分類および測定に関する基準の発効日について議論を行いました。年内の公表を目標としている金融商品の分類および測定に関する基準は、公開企業について、2017年12月15日より後に開始する事業年度、および当事業年度に属する期中報告期間より適用されます。非営利企業および従業員給付制度を含む非公開企業にはさらに1年の猶予がありますが、公開企業の発効日と同時に早期適用することもできます。

FASBは公開企業と非公開企業が、本基準の公表と同時に一部の規定を適用することを許容する決定を行いました。早期適用できる要求事項の一つは、金融商品に固有の信用リスクに起因する、公正価値オプションに従って会計処理される金融負債の公正価値の変動を、その他の包括利益計算書に計上することです。また非公開企業は、公正価値で測定されない金融商品の公正価値の開示を直ちに省略することができます。

金融商品会計プロジェクトの分類および測定フェーズにおける決定事項の概要については、[In depth US2015-04](#)「金融商品の分類および測定一何を予期すべきか」をご覧ください。このIn depthでは、のちにアジェンダから削除されたプロジェクトに言及しているパラグラフ18を除き、PwCが最終基準に含められると予想する規定を扱っています。

#### なぜ重要か

リテール銀行や商業銀行および保険会社などの一部の金融機関は、この提案に最も影響を受ける可能性(また公表と同時に「自己の信用リスク」の会計処理を採用することに最も関心がある可能性)があります。

現在、純損益を通じて公正価値で測定していない大規模な資本性投資のポートフォリオを有する企業は、重要な影響を受ける可能性があります。企業が持分証券の会計処理を変更した結果、他の投資を選好して特定の投資を売却する可能性がある場合には、当基準の発効日を理解しておくことが重要です。このような売却により、潜在的な税金およびその他の影響の評価に時間を要する可能性があります。

#### 次のステップ

FASBは、スタッフに対して最終基準の作成を進めるよう指示しました。FASBは最終基準の公表目標を2015年内としています。

#### 要点

FASB は年内に公表が予定されている金融商品プロジェクトの分類および測定フェーズについて発効日を決定しました。

© 2015 PwC. All rights reserved.

PwC refers to the PwC Network and/or one or more of its member firms, each of which is a separate legal entity. Please see [www.pwc.com/structure](http://www.pwc.com/structure) for further details. This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.